



響きの丘通信

通算001号 第25期1号

ルネグランディア管理組合 広報担当

広報担当より

今期から管理組合員の皆様にニュースをお届けすることになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

管理組合ニュース

- ・ルネグランディア第25期が始まりました。
- ・6月28日（日）小山ヶ丘小学校体育館で、自治会令和8年度定期総会ならびに第24期通常総会が開催されました。自治会2議案、通常総会8議案ともに普通決議により賛成多数で可決されました。
- ・第25期の役員（留任13名、新任12名）それぞれの担当が決定いたしました。皆様のご協力をいただきながら、より良い環境づくりに向けて活動して参ります。

特集 エレベーターどうなる？ もし地震が起きたとき…

6月26日（金）22時30分頃、山梨県東部を震源とする地震が発生しました。広報担当者が帰宅しエレベーターに乗ろうとした瞬間の出来事です。ルネグランディアでも大きな揺れがあり、エレベーターは自動停止。運転再開は翌朝となりました。 「もしあの時、乗っていたら……」

これを機に、エレベーターの安全装置や地震発生時の動きについて、ルネグランディアの保守委託先であるジャパンエレベーターサービス様にお話を伺いました。少し専門的な内容も含まれますが、ご自身やご家族の安全のため、ぜひ最後までお読みいただき、特にお子様にもお話しください。

大切な3つのポイント

～落ち着いて行動しましょう～

- ✓ 地震を感知すると最寄り階で停止しドアが開きます
- ✓ 停止したらすぐに降りてください
- ✓ 閉じ込められても無理に脱出せず非常ボタンで連絡してください

■知っておきたいこと

地震が起きるとエレベーターはどうなるの？

概ね震度4程度以上で停止します。

最寄り階（一番近い階）で停止しドアが開きますので速やかに降りてください。

しばらくするとドアが閉まりますが、中から開けることはできるので慌てず行動しましょう。

【ご参考までに】

ルネグランディアのエレベーターにはP波センサー付地震時管制運転装置が搭載されています。伝播速度が速い初期微動（P波）をセンサーが素早くキャッチし大きな揺れ（S波）が到達する前に、自動で最寄りの階へ移動しドアを開きます。地震を感じなくても最寄り階で停止した場合には迷わず降りてください。

■ 閉じ込められたら

もし閉じ込められたらどうすればいいの？

地震によって閉じ込められるケースは多くありませんが、もしの場合は落ちついて行動してください。換気も行われており夜間でも急に暗くなることはありません。

- ① 非常用ボタンを長押しします。
- ② ジャパンエレベーターサービス神奈川のコントロールセンターに繋がりますので閉じ込められていること、管理ステッカーの番号X 6-2 2 9～2 3 2を伝えて下さい。
- ③ 原則3 0分以内に技術員が現地へ向かいます。
- ④ 万が一、非常用ボタンを長押ししてもコントロールセンターへ繋がらない場合はステッカーにあるQRコードを読み取り、閉じ込めが発生していることを送信してください。
- ⑤ 閉じ込め発生個所が多発している場合も、順番になるべく早く救出対応を行います。

■ 絶対にやってはいけないこと

▲ 無理に脱出を試みることは絶対にやめてください

× ドアを無理にこじ開ける

× たたく、蹴る

× 天井を開けようとする

などは新たな故障につながるだけでなく、重大な怪我などの危険があります。

▲ 地震発生時はエレベーターを使わないで

余震等の可能性もあります。エレベーターが動く状態であっても地震発生時のエレベーター利用は控えてください。

【コラム】エレベーターは落下しないの？

誰しも一度は、「もしエレベーターのロープが切れたら…」と想像したことがあるのではないのでしょうか。映画やドラマでは、エレベーターが急落する場面を見かけることがあります。しかし実際のエレベーターは、複数のワイヤーロープを使用するなど、幾重もの安全対策が施されています。そのため、すべてのロープが同時に切れることは極めて考えにくい構造になっています。さらに、異常な速度で下降した場合には非常ブレーキが作動し、かごを強制的に停止させる仕組みも備わっています。映画のようなエレベーターの落下事故を心配する必要はありません。もし閉じ込められた場合、残念ながらヒーローが天井から現れることはありませんが無理に脱出しようとせず、非常ボタンで連絡して落ち着いて救助を待つことが大切です。ルネグランディアのエレベーターは定期点検、法定点検を確実にしており安全は確保されています。

この記事を書いている最中、熊本で大変な災害が発生しています。被災された方々、ご親族、関係者の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

地震はいつ発生するかわかりません。しかし、エレベーターの仕組みや万が一の対応を知っておくだけでもいざという時の落ち着いた行動につながります。今回の記事が、ご家族で防災について話し合うきっかけとなれば幸いです。

響きの丘通信では皆様からのニュース・感想・取り上げて欲しい特集など幅広くお待ちしております。



kouhou@renai-grandear.com

